

神杉自治連だより

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2025/8/12 発行
7月末(前月比)
人口 1,441(-7)
世帯 602(-1)
ホームページ
kamisugi@city.jp



令和7年度 神杉自主防災訓練開催



神杉自主防災会(会長 有田雅俊さん)は、7月13日(日)令和7年度神杉自主防災訓練を行いました。

目的は、①自分の命は自分で守る ②避難は命を守るための最善の行動である ③避難のタイミングは機を逃さない これらを再認識

する訓練として実施しました。

本部は、8時に基幹避難所(神杉小学校校体育館)へ集合し、受け入れ体制を整えました。各地域では、8時30分に防災委員さんを中心に、地域避難所へ集合し、地域住民の安否確認を行いました。また、地域における様々な問題を話し合った後、各地区から数名の代表者の皆様に基幹避難所へ集まっていたいただき、協力団体も含め113名の参加者で実施しました。

基幹避難所の体育館では、9時30分より開会式を行い、その後参加者の皆さんを3班に編成

し、①心肺蘇生訓練 ②仮設トイレの組み立てと使用方法・トイレ用テントの設置及び収納訓練 ③応急処置訓練の3エリアをそれぞれ体験しました。



後半は、広島地方気象台南海トラフ地震防災官 内田 祥一様より、『南海トラフ地震について』講話を行っていただきました。ちなみに、南海トラフが起きた時の三次市の震度予想は震度5弱から震度5強だそうです。

今年の自主防災訓練は、例年にも増して大変暑い体育館内での訓練でしたが、参加された皆さんは熱心に訓練され、また耳を傾けておられました。お疲れ様でした。

7月28日(火)に反省会を行い、様々な意見や要望がありました。皆さんと共に対応し、前進していきたいと思えます。

今回の防災訓練に当たり、各地区の防災委員さん、三次市危機管理課、三次市消防団神杉分団、神杉防災士会、三次市役所神杉避難所班、広島地方気象台の皆様等、多くの方々にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

南海トラフ地震臨時情報 発表後にとるべき行動



監修：内閣府(防災担当)、気象庁

Yahoo!ニュース
オリジナル

命を守る鍵!! 事前の備え



- 命を守るために
家屋耐震化、家具・家電の固定、出火・延焼を防ぐ防火対策
- 避難するために(地域を知る)
避難所・避難経路確認、地域の危険度把握
- 情報を入手するために
携帯電話・スマートフォン(充電器)、携帯ラジオなどの
- コミュニケーション
家族の集合場所・安否確認方法の確認(災害用伝言ダイヤル・災害用伝言版)、防災訓練への参加
- 生き抜くために
非常用持ち出し品と備蓄品の備え



神杉わくわく講座市外研修

神杉わくわく講座（会長

長 有田雅俊さん）は、7

月11日（金）、島根県浜田

市三隅町にある石州和紙会

館にて手すき和紙作りを体

験しました。石州和紙の特

徴は、地元で栽培された良

質の楮を使用し、補助材料

として、トロロアオイの根の粘液を入れて漉か

れた微細で強靱で光沢のある和紙であるとのこ

とです。

昭和44年（1969年）、国の重要無形文化財に指定されています。

手すき和紙作り体験では、講師の指導を受けながら、はがきサイズの大きさに挑戦。なかなか厚さの均一化は難しかったけど、カニや花などの可愛いアクセントも加え、オリジナルの和紙ができました。

後日、早速絵手紙教室の生徒さんが自分で作った和紙へ絵手紙を描かれました。

このような体験を通じて、仲間と一緒に楽しみながら色々なことに挑戦、体験できることは非常に意義な時間だと思えますので、是非わくわく講座へ申し込んでください。

（神杉自治会館

66・1323）



水辺の教室第2弾

鮎のつかみ取り体験！

7月8日（火）、神杉地区公衆衛生推進協議会（会長 影山洸輝さん）は、小学校4年生を対象に、芋面川の水質調査に続き、鮎のつかみ取り体験を行いました。

これは、川をはじめとする環境問題について考え、行動する目的で毎年行っている水辺の教室の一環です。

午前は鮎の生態などについての座学を行い、川の水質向上・維持が大切であることを確認し、午後はいよいよつかみ取りです。

ブルーシートで5m×4mの簡易プールを作り、江の川漁協中間育成場（向江田町）から鮎を運び、プールへ放流しました。

一斉に児童はプール内へ入り、キヤーキヤーと大歓声。初めて触る感触と、鮎の素早い動きに翻弄され、約20分程度の格闘ののち、掴んだ鮎に恐る恐る竹串を刺して、塩を振りかけ炭火で焼きました。そして先ほどまで生きて元気に泳いでいた命をいただくありがたさに感謝して、みんなでおいしく食べました。鮎の塩焼きは串にさしたままかぶりつく



のが醍醐味。1匹をやつと食べた児童、お代わりして数匹食べた児童など様々な光景がありました。が、思い出に残る1シーンでした。



ナイトシアター「FLY」上映

今年の夏は毎日酷暑続き。ただひとつありがたいのは、ナイトシアターでの雨の心配がいらなかったことです。7月25日（金）



約140名が満天の星空の下、小学校グラウンドのバックネットに掛けられた巨大スクリーンで映画を楽しみました。

今年の映画の「FLY」は、小さな池から一度も出たことがない渡り鳥一家の初めて大移動を描いたスペクタクル・ファミリーアドベンチャーで、大人が見ても楽しめる内容でした。

神杉小学校PTAの協力を得て、休憩時にはジュースなど飲み物を配布していただき、乾いた喉を潤しながら熱中症対策をしました。

楽しいナイトシアターの時間でしたが、一部には懐中電灯を振り回しながら歩き回ったりして、大人の方から注意を受ける子どもたちもいました。しかし、終了後には自主的にイスなどを片付ける手伝いをしてくれる子どもたちも大勢いて、とてもありがたかったです。

20年以上続いている夏休み恒例のイベントがこれかもずっと続けられますようご協力をよろしくお願いします。



平和学習と戦争犠牲者慰霊のつどい

8月6日（水）は、原爆投下から80年目の「原爆の日」でした。被爆体験や戦時体験を語る人も少なくなり、次世代へ語り継いで行くことが大変困難な時代になってきました。

この日、神杉小学校と神杉地区自治会連合会は共に平和学習を行い、平和への思いを共有しました。

午前8時15分に子どもたちと一緒に黙とうをし、その後6年生の「虹のプロジェクト」で取り組んだ平和学習の発表を参観しました。聞き取りしたことや学んだことから、今ある平和のありがたさや、平和であるためにはどうすれば良いのかなどを考えて発表していました。最後に全校児童が小さな世界などの歌を力強く合唱して終わりました。

慰霊のつどいでは、今年6月に新しく移設設置されたばかりの慰霊碑の前で黙とうし、遺族会会長 小田義則さんと児童会会長 宗安明花里さんが平和の誓いを読み上げ、今年も多方面から数多く寄せられた千羽鶴を奉献しました。最後に参列者全員が、平和への願いと戦争犠牲者の御霊に対し慰霊の献花を行いました。



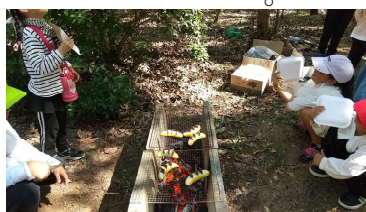
キッズチャレンジ

夏休みキッズチャレンジを7月24日（木）、と7月31日（木）に行いました。

1回目は尾首山憩いの森づくり実行委員会の協力を得て、焼きチョコバナナづくりとクイズラリー、冒険の森でしつかり遊びました。



クイズラリーは、森の中に掛かっているクイズを探し、班員で協力して答えを見つけるゲームです。クイズの中には「○○さんにヒントをもらおう」などの問題もあり、子どもたちは大きな声で「○○さん。どこですか」と山中に響き渡るように叫んで探しあて、ヒントをもらっていました。焼きチョコバナナづくりでは、炭火の上にチョコレートをし込んでバナナを置いて焼いて食べました。「これだったら家族でBQをする時にできそう」「今度やってみるよ」と言っていました。



2回目のキッズチャレンジは、JA女性部の協力でおにぎらずを作って食べました。サランラップに海苔をのせ、ごはん、レタス、カニカマ、炒り卵にマヨネーズを具にして包み、半分に切って食べました。切る方向を間違えてしまった子どもたちもいましたが、「こっちの断面もなかなかいいよ」「お腹に入ったら一緒にしゃべえ」と言っておいしそうに食べていました。

神杉地区敬老会

令和7年9月14日10:30～

神杉小学校体育館

今年度の対象者は昭和21年4月1日以前にお生まれの方です。

対象者の方へは郵送でご案内をいたしますので、皆様お誘い合わせて多数ご参加ください。

日程

10:30 開会行事

11:00 会食

演芸 横谷子ども神楽 外

12:15 閉会行事



お待ちしております

その後女性部さんのお米の話と野菜の葉っぱを見て野菜を当てるクイズではとても盛り上がりました。答えを当てた子どもにはその野菜がプレゼントされ、うれしそうに大事に抱えていました。憩いの森づくり実行委員会の皆さん、JA女性部の皆さん、楽しい企画をしていただきありがとうございました。

夏休みキッズチャレンジは全4回でどれも4人前後の子どもたちが参加しています。残り2回は老人クラブさんの協力でコマ回しの挑戦と、自治連主催の県立広島大学訪問があります。このキッズチャレンジは平成21年から始まり今年で17年目の継続事業です。



8月 講座・行事・会議予定



- 19日(火) 三味線 スポーツ振興部会
 20日(水) アンサンブル POCO 書道
 キッズチャレンジ (県立広島大学訪問)
 21日(木) 俳句 三役会議
 22日(金) パソコン 生花 カラオケ
 第32回ふれあい祭り実行委員会
 23日(土) 社交ダンス
 26日(火) 三味線
 27日(水) アンサンブル POCO
 神杉まるごと相談・見守り推進会議
 28日(木) 絵手紙
 30日(土) 子ども110番の家訪問
 (青少年育成部会)

9月 講座・行事・会議予定

- 2日(火) 舞踊 三味線
 3日(水) アンサンブル POCO 書道
 4日(木) 小学校へ防災学習出前
 5日(金) パッチワーク
 7日(日) 一斉清掃
 9日(火) 舞踊 三味線
 10日(水) パン教室 アンサンブル POCO
 広報紙配布

※ふれあい祭りの部会が入ってきますので、施設利用を希望の方はお早めにご連絡ください

愛の灯

令和七年七月一日から
 同月末日までに次の方から
 ご寄付が寄せられました
 神杉地区社会福祉協議会へ

《香典返し》

一区 元井 康治 様
 十五区 伊藤 英樹 様
 (亡父 伊藤 伸吾 様)
 (亡母 元井 富子 様)
 紙面をおかりしまして、
 衷心より厚くお礼申し上げます



神杉少年剣道教室

JR 神杉駅の清掃活動

7月20日(日) 午前8時から
 剣道教室の子どもたちと保護者
 25人で JR 神杉駅の清掃活動
 を行いました。



この目的は、「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」というスポーツ少年団の理念に沿って、毎年夏休みを利用して神杉地域の公共施設である JR 神杉駅の清掃を行い、社会貢献活動を実施するものです。

清掃活動は、剣道教室を始めた平成27(2015)年から毎年実施しており、今年で10年になります。

今年も昨年に続き、JRの利用者に少しでも涼しい風情を感じてもらいたいと、子どもたちが願いを書いて「風鈴」を駅舎に飾りました。今後も続けていきたいと思っていますので、地域の皆様、温かく見守ってください。



指導者 田原義隆

編集後記

猛暑・酷暑・激暑・炎暑・極暑、

どの言葉を使えばよいのかと思う日々です。皆さ
 ま体調はいかがでしょう？私は暑くても食欲は
 しっかりあるので夏野菜の天ぷら、飽きてしま
 うほど食べているきゅうり・ゴーヤの佃煮もご飯
 がすすみます。このまま食欲の秋が来ればどうなる
 事でしょう(笑)

原爆投下から80年。テレビで、家族の中で私
 が1人残されたと言われていました。どれだけ悔
 しくて悲しくてやり切れなかったことでしょう。

「核兵器は絶対に使ってはいけない！」と強く訴
 えておられました。神杉では慰霊碑が移築され、
 たくさんの方々が奉獻されました。平和公園ま
 で行くことはできませんが、神杉で黙とう・献花
 をさせていただいてよかったです。 (栄)

山脈句会(七月)

ほおぼりて懐かしの味トマトかな

中本 好美

かき氷大口開けてにんやりと 高松 英子

炎天下畦草ばかりはびこつて 中藤 博文

青ガエル帽子の上で一息す 村上千津子

梅雨が明け人も野菜も耐え忍ぶ 住田東洋男

相扶園避暑さながらに老憩う 広川テル子

早過ぎる梅雨明け憂う水不足 田原 洋子

